

調査企画部会（第8回）委員意見への対応

《第8回》

- 委員からの意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【21件】
 - ・ 中間とりまとめ（素案）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21件

○中間とりまとめ(素案)について

○人口減少という社会全体の大きな変動をどこかに記述していただきたい。

○「継続的に検討すべき課題」は、緊急的に取り組む課題、継続・強化すべき課題と並んで記述するのがよいのか。

○今回水道側のいろいろな情報が入ってきたが、それらの視点で下水道側はどうなのかという対応がとれていない。

○再生水の利用には、エネルギーマネジメント出来る部分があり、水資源全体のマネジメントの中でこの問題を書き込んでいただけるとありがたい。



- ・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○中間とりまとめ(素案)について

- 高度処理という言葉の使い方で、水道では「高度浄水処理」という言葉をつかっている。
- 水の輸送エネルギーや中核都市を示す数値は、出典根拠の明示や表現を工夫して誤解を生まないようにしていただきたい。
- 「幅を持った社会システム」を構築する際の留意点について、記述の場所を工夫することと、もう少し簡略化した方がよいのではないか。
- 幅を持った取組に当たり、非効率をどのように排除するかと、資源の制約から優先順位が必要となるという書き方がいるのではないか。



- ・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○中間とりまとめ(素案)について

- 目指すべき社会のうち水・エネルギー・物質循環に立脚した社会では、人間活動と環境保全という記載は、公害型のイメージを持ってしまうので、言葉の選び方に配慮いただきたい。
- 持続的水利用社会の持続的という意味は、健全な水・エネルギー・物質循環に立脚した社会とダブっており、きれいに分けられないのではないか。
- 水源を毒物で汚されることや災害時の社会的弱者への対応といったことへの問題意識に触れておいた方がよいのではないか。
- 安全安心水利用社会と、持続可能水利用社会、健全な水エネルギー物質循環に立脚した社会では、書き方の重みがかなり違う印象があるので注意していただきたい。



- ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○中間とりまとめ(素案)について

- 排水規制の見直しが書かれているが、それより前に環境基準を見直さないといけない。
- 技術や企画の統一化という言葉が使われているが、こういう水だったらこういうものに使っていくという、カスケード的な考え方が必要となっており、言葉を変えた方がよい。
- 「次世代政策元年」という言葉は、「はじめに」のところだけにしか記載がない。中身のほうにも記載すべきである。
- 低炭素社会というのはCO₂だけかという、むしろメタンのほうが激しい温室効果ガスである。メタンのことも触れた方がよいのではないか。



- ・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○中間とりまとめ(素案)について

○総合水資源管理から幅を持った社会システムとの関係は、「含め」「加え」では表現が弱いのではないかと思う。

○資源制約がある中で、大規模自然災害に対する備えといってもできることには限界があると思うので、それを前提とした位置付けをすべき。

○水インフラの老朽化への対応について、長期的な視点に立ってトータルコストを低くすることや積極的に更新をしていくことが重要なテーマであり、書き方も工夫していただけないか。



- ・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。

○中間とりまとめ(素案)について

○フルプランをはじめとして水資源政策全体が水資源開発プランの発想であったが、大転換して水資源マネジメントプランに移っていくという流れがわかるようにした方がよい

○安全でおいしい水の課題部分は、緊急的に取り組むべき課題であることが読めるように、リスクのニュアンスを強くするような書き方をすべきである。

○最終とりまとめに向けて、想定される人口減少に係る水需要の変化への対応や、情報化時代を考慮した水資源管理や水供給システムのあり方について、今後検討することも有意義である。



・ ご意見を踏まえて、関連制度及びフルプランのあり方について、最終とりまとめに向けて具体的に詰めて参ります。

・ ご意見を踏まえて、中間とりまとめの際に反映させていただきます。